

お忙しいなかご来校ありがとうございます。

この資料の【紙面配付は行いません】ので事前に印刷するか、スマートフォン等に保存してご覧ください。

*当日は、入校証の着用にご協力をお願いします



【資料】

令和8年度(2026) 川崎市立橋中学校

教育課程・説明会

【実施日時】

令和8年4月27日(月)

14時45分～15時45分(14時35分受付)

【会 場】

川崎市立橋中学校 体育館

* 進行に関する時程は予定です

- 1 開 会 14:45-----司会・進行：教務主任
- 2 校長挨拶 14:46----- (中本校長)
・学校教育目標 ・今年度の重点目標 など (p2)
- 3 教育課程について 14:51 (p3)
- 4 学習活動について 14:54
 - (1) 学習全般、定期テスト、評価評定について (p4-11) ----- (学習指導部主任 伊澤)
 - (2) 各教科、領域における学習の概要等について- (p12-24) ----- (各教科主任)
国語→ 社会→ 数学→ 理科→ 音楽→ 美術→ 保健体育→ 技術・家庭→ 外国語(英語)
P12~ p13~ p14~ p15~ p16~ p17~ p18~ p20~ p21~
道徳→ 特別活動→ 総合的な学習の時間
P22~ p23~ p24~
- 5 質疑応答 15:35
- 6 閉 会 15:45(予定)

令和8年度 川崎市立橋中学校学校経営方針

学校教育目標

ひとりひとりの個性を伸ばし、知・徳・体・意の調和のとれた人間性豊かで、たくましい生徒を育成する

1. 自ら学ぶ習慣を培い、基礎学力と豊かな教養を身につけさせる。
2. 社会の一員として寛い心を持ち、善悪を正しく判断し行動するとともに、自らを生かす態度を育てる。
3. 健全な生活習慣を培い、あわせて奉仕と勤労の精神を育てる。
4. 活力ある生活を心がけ、体力の向上につとめ、健康の保持・増進をめざす態度を養う。
5. 強い意志と豊かな創造性を身につけ、誠意をもって行動する態度を養う。
6. 国際的な視野に立って物事を広く見通し、行動することのできる人間を育てる。

校訓「向上心」

- ①意欲を持って学習し、豊かな知識を身につけよう。
- ②思いやりの心と、正しい判断力を身につけよう。
- ③すすんで勤労作業の責任を果たし、人のために奉仕しよう。
- ④心身を鍛え、健康保持増進に努めよう。
- ⑤強い意志を持ち、自主的に何事もやりぬこう。
- ⑥国際的な出来事に関心を持ち、広く世界に目を向けよう。

1. ひとりひとりを大切にされた教育の実践

◎共に支えあえる学校(共生・協働)

- ・いじめ未然防止に向けての具体的な取り組み
- ・3年間を見通した道徳、人権尊重教育を基盤とした教育の推進
- ・生徒の視点に立った生徒理解の実践
- ・日常的な教育相談の充実
- ・不登校生徒への具体的な対応の推進
- ・多様性を互いに認め理解し、差別のない学校づくり

◎総合的な学習の時間の充実

- ・3年間を見通した学習プログラムの構築と推進

◎キャリア在り方生き方教育の推進

- ・職場体験学習の実践と進路指導の充実

◎特別活動の充実(自主・自立)

- ・学級活動・生徒会活動・学校行事及び話し合い活動の充実

◎SDGsと関連付けた教育課程の構築

- ◎かわさき共生・共育プログラムの推進と活用

2. 基礎・基本の確実な定着と学習指導の充実

◎基礎的・基本的な学力を身につける指導の実践

- ・基礎的な学力の確実な定着のための指導法工夫・支援に努める
- ・わかる授業・魅力ある授業の推進
- ・個別最適な学びと協働的な学びの推進
- ・GIGA端末を活用した情報収集・分析する探究的な学びの展開
- ・「主体的・対話的で深い学び」の意図的・積極的な実践
- ・各教科における探究的な学びの推進

◎支援教育の充実

- ・学習面で特別な配慮を要する生徒への支援の充実
- ・ユニバーサルデザインの視点による授業改善
- ・学習室運営の充実と教室の連携深化
- ・外部機関との連携

◎授業力の向上

- ・授業公開、研修を通しての授業力向上に向けた取り組み
- ・学習評価の場面や方法等の工夫・改善

3. 健康で安心して過ごせる学校

◎心と体の健康増進(保健室との連携)

- ・保健室、支援教育コーディネーターやスクールカウンセラーとの連携
- ・心や体の健康増進

◎学習環境の整備

- ・ユニバーサルデザインを活用した全ての生徒にとって学習しやすい落ち着いた教室環境づくり
- ・命を守る防災教育、危機管理体制の推進

4. 地域に開かれた学校・信頼される学校教育の推進

◎学校・家庭・地域との連携

- ・保護者・地域と連携した教育の実践
- ・授業参観や学校公開日、懇談会の開催と工夫
- ・保護者・地域の方々などの地域教育力を活用した教育活動の推進
- ・コミュニティスクールの推進と活用

◎小・中連携教育の推進

- ・小学校と連携した支援教育の充実

◎生徒、保護者から信頼される教育の推進

- ・学校公開や学校だより・学年だより等の各種通信、ホームページ等を通じた保護者・地域に向けての情報発信の充実
- ・学校評価の活用

令和8年度重点目標 (令和7年度 学校評価アンケートの結果を踏まえて)

★多様性を力に変える学び創造(共生・協働)

- 協力し合う良好な友人関係(肯定的な回答をした生徒H29:90%→R3:94%→R4:95%→R5:90.9%→R6:94.6%→R7:93.4%)
- 学校生活は楽しく充実している(肯定的な回答をした生徒H29:84%→R4:90%→R5:86.3%→R6:89.9%→R7:89.9%)
- ・生徒の視点に立った生徒理解
- ・誰もが自己肯定感・自己有用感が得られる教育活動の推進
- ・互いを認め合い大切にする教育の実践

★いじめ防止に向けての具体的な取り組み

- 困っている時に助けてくれる(肯定的な回答をした生徒H29:78%→R4:91%→R5:86.5%→R6:90.7%→R7:89.5%)

- ・いじめや暴力のない生徒集団づくり
- ・多様性を認め、差別のない学校づくり
- ・生徒の気持ちに寄り添う教育相談

★「わかる授業」は学習指導・生徒指導・支援教育の基本

- 全ての生徒にとってわかりやすい授業の実践
(肯定的な回答をした生徒 H29:76%→R4:93%→R5:88.2%→R6:89.9%→R7:90.9)
- ・わかる授業の推進
- ・個に応じた学習方法の工夫
- ・基礎基本の定着と確かな学力の育成
- ・ねらいを明確にした、生徒の主体性や興味を引き出す授業の実践
- ・学習室を活用した学習支援や登校支援の充実

令和8年度 教育課程

1. 授業日数 前期：100日，後期：101日（3年91日），年間：201日（3年191日）

2. 授業時数

	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保体	技家	英語	道徳	特活	総合	合計
1年	4	3	4	3	1.3	1.3	3	2	4	1	1	1.4	29
2年	4	3	3	4	1	1	3	2	4	1	1	2	29
3年	3	4	4	4	1	1	3	1	4	1	1	2	29

・各教科の授業時数は年間を通して調整し、「総合的な学習の時間」については柔軟な運用を計画する。

・Ⅰ期 … 1年音楽週2時間，Ⅱ期 … 1年美術週2時間，Ⅲ期 … 1年総合週2時間

3. 日課時程（Ⅰ期 … 4月～7月，Ⅱ期 … 8月～11月，Ⅲ期 … 12月～3月）

	時間	月	火	水	木	金
職員打合せ	8:15	8:25 出席確認				
朝学活	8:25～8:35	朝学活（たちばなタイム）				
1校時	8:40～9:30	学活	授業	授業	道徳	授業
2校時	9:40～10:30	授業	授業	授業	授業	授業
3校時	10:40～11:30	授業	授業	授業	授業	授業
4校時	11:40～12:30	授業	授業	授業	授業	授業
給食	12:30～13:10	給食（配膳時間含む）				
昼休み	13:10～13:25	昼休み（片付け時間含む）				
5校時	13:30～14:20	授業	授業	授業	授業	授業
6校時	14:30～15:20	×	授業	Ⅰ期，Ⅱ期 2,3年総合 (1年授業)	授業	総合
				Ⅲ期 全学年総合		
清掃	月 14:20～14:35 水, 金 15:20～15:35	清掃活動（火・木は簡単清掃）				
帰学活	月 14:40～14:50 火, 木 15:25～15:35 水, 金 15:40～15:50	帰学活				

4. 最終下校時刻

4月1日～9月30日	17:30
10月1日～11月15日	17:00
11月16日～1月15日	16:45

1月16日～2月28(29)日	17:00
3月1日～3月31日	17:30

令和8年度（2026）
教育課程説明会

**学習全般・定期テスト
評価評定について**

川崎市立橋中学校

1

● **学習全般**

■ **学習リズムの定着をめざす。**

- ・必ず予習、復習の時間をもつ
- ・わからないことを、そのままにせず解決をすること
- ・課題や提出物などは必ず取り組む

■ **授業は...**

- ・教科担任制
- ・定期テストがあります。
- ・中学校の授業では、少人数での学び合い活動などを通して人と関わり合いながら、意見を交流する場面も増えます。
また、根拠をもって自身の考え方をもちことなども大切になります。

2

●定期テスト

定期テストは年4回あります。

- ・【前期】（中間テスト）6/15（月）、6/16（火） *5科+美術
- ・【前期】（期末テスト）9/3（木）、9/4（金） *美術以外8科

- ・【後期】（1・2年 中間テスト）12/3（木）、12/4（金） *5科+美術
- ・【後期】（3年 中間テスト）11/5（木）、11/6（金） *9科

- ・【後期】（1・2年 期末テスト）2/8（月）、2/9（火） *美術以外8科
- ・【後期】（3年 期末テスト）1/29（金） *5科

- ・【テスト時間】5教科→45分、4教科→30分（美術は45分）

- ・その他
 - ・3年模擬テスト（進路）9/7（月） *成績に含ませず
 - ・一部教科では、答案用紙の採点に「採点ソフト」を使用しており、「返却する答案はコピー」となる場合があります。その場合には、答案用紙原本の返却は行いませんのであらかじめご了承ください。

3

●評価・評定

学習指導要領においては、自ら学び自ら考える力などの「生きる力」をはぐくむことを目指し、基礎的・基本的な内容の確実な習得を図ることを重視することが示されています。この目標に照らして、そのねらいを実現する「評価」が生まれました。各教科の目標に照らして、その実現状況を観点ごとに評価します。本校においてもこれらをすべて参考に研修を重ねながら、観点別学習状況の評価を基本として、生徒の学習の到達度を適切に評価していくことに努めています。（以下、神奈川県「公立小学校・中学校これからの学習評価リーフレット」参照）

学習指導要領実施、6年目に

（小学校：2020年度～、中学校：2021年度～、特別支援学校は小・中学校学習指導要領に合わせて実施。）

全国どここの学校で教育を受けても、一定の教育水準を確保するために、各教科等の目標や内容などを文部科学省が定めているものが学習指導要領です。教科書の内容や学校での学習指導と学習評価の基となるものです。

各学校では、学習指導要領に定められる各教科等の指導事項や、授業時間数等を踏まえ、地域や学校の実態に応じて、各学校が定める教育目標を実現するために、教育課程を編成し、指導と評価の計画を立てています。

4

>>>授業を通して、どのような力を身につけるのか？

社会に出てからも学校で学んだことを生かせるよう、
三つの力をバランスよくつけていきます。

新学習指導要領では、幼稚園から高等学校までのすべての
学校教育で、

- (1) 知識及び技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

の「三つの柱」で示された資質・能力を育成することとされ
ました。



5

どのようなことを見取るのか



学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、
よりよい人生を送るか

「確かな学力」「健やかな体」「豊かな心」を
総合的にとらえて構造化

何を理解しているか
何ができるか

知識及び技能

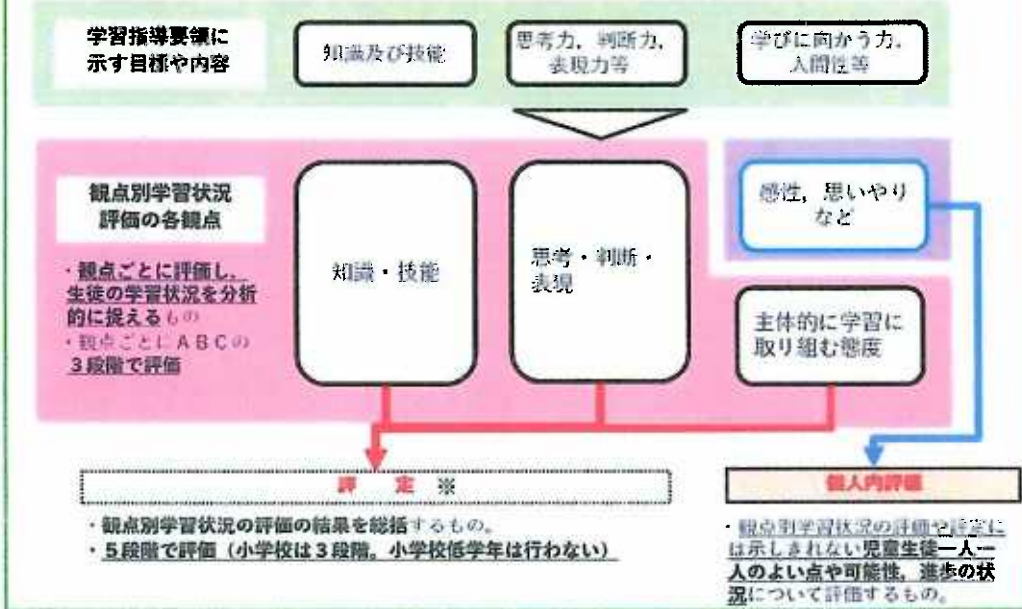
理解していること・できる
ことをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

6

・ 評価の基本構造

- 各教科における評価は、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして学習状況を評価するもの（目標準拠評価）
- したがって、目標準拠評価は、集団内での相対的な位置付けを評価するいわゆる相対評価とは異なる。



文部科学省初等中等教育局教育課程課「新学習指導要領の全面実施と学習評価の改善について」令和元年度地方協議会等説明資料

※「評定」は観点別学習状況の評価の結果を総括したものです。通知表(あゆみ)等での表記は、各学校の工夫によります。

【観点別学習状況の評価】

- 十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの：A
- 十分満足できると判断されるもの：A
- おおむね満足できると判断されるもの：B
- 努力を要すると判断されるもの：C
- 一層努力を要すると判断されるもの：C

A[○] = 3点、A = 1点、B = 2点、C = 2点、C = 1点とする

出題数の代表例	(合計値)	評定と規準
A [○] A [○] A [○]	(15)	5 十分満足できると判断されるもののうち、特に程度の高いもの (15点~14点)
A [○] A [○] A	(14)	4 十分満足できると判断されるもの (13点~11点)
A [○] A [○] B	(13)	
A A A	(9)	
A [○] B B	(7)	3 おおむね満足できると判断されるもの (10点~8点)
A B B	(6)	
B B B	(9)	
B B C [○]	(8)	2 努力を要すると判断されるもの (7点~5点)
B C [○] C [○]	(7)	
C [○] C [○] C [○]	(6)	
C [○] C [○] C	(5)	1 一層努力を要すると判断されるもの (4点~3点)
C [○] C C	(4)	
C C C	(3)	

*** 評定は、観点別評価によるため、仮にテストの合計点が同じでも評定が異なる場合があります（観点ごとの得点が違う場合）。**

【以下、参考】 *教育課程説明会ではふれません

一番わかりにくい（質問が多い）、

「主体的に学習に取り組む態度」について

「主体的に学習に取り組む態度」は、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど、自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面を評価する。

= 「**自己調整力**」

9

【具体的にみると】

●現行の評価の観点でいうところの「主体的に学習に取り組む態度」は、端的にいうと「**思考・判断・表現**」と「**知識・技能**」の力を育むために行った「**自己調整力**」を指します。

具体的には、「今、自分にはこの力が必要だ」ということを気づくために、または、その力をつけることを実現するためにどのような取組みをしたのか、ということになります。そのようなことから考えてみるならば、授業の中で学んだことから重要な点を見出していくことや、**ある事象について学んだ個別の知識を結びつけて、根拠を持ちながら、自身の考えもふまえて、説明する**というようなことが求められることとなります。

授業での事例・・・

10

【事例1】 主体的に学習に取り組む態度について

●ある授業の中で学習の内容に沿った時事的な話題にふれられました。「ある自治体の首長と議会の関係性と、そのやりとりの是非」が全国で注目されているという話題を取り上げて、教科担当者は「自身の視聴者（教員としてではなく）としての評価」を話しました。

これは、ある自治体に若手の市長が就任し、議会での議員の振る舞いに対して正すべきと意見をいったことがきっかけで議会とのあいだに不和が生じ、様々なメディアで取り上げられているものでした。

生徒の中には知っている人も数人いましたが、話題としてまったく知らない人のほうが圧倒的に多い状態といえます。

最近、市民への情報公開の観点、見える化の観点ですべての本会議、委員会の様子を動画で公開し、首長の定例記者会見なども公開されています。教科担当者は、それらをふまえた率直な自身の考えを伝えています。

すると、翌日の授業前のある生徒が一連の出来事について調べ、動画を見たということで、感じたことと自身の評価を伝えてきたのです。生徒の感じ方は教科担当者が伝えた見方、評価と方向性は同じであるものの、少し異なった部分もありましたので、担当者が理由を問うと、これこれこのような場面を見て、このように感じた」と説明をしました。

もちろん、公開されている本会議、委員会のすべての動画を見ることは難しいですから、その生徒は「一連の話題をとりあげたニュース」を観たそうです。ニュースですので公正かつ客観的に取り上げられている前提ですが、あふれる情報の中には、恣意的にまとめられたものもあります。数ある情報の中から自分の考え方（ここでは、この出来事への評価）の根拠となる情報を適切に探し出す力を伸ばすにはとてもよいきっかけとなる出来ごとです。このやりとりを通して、発展的に学ぶことができたとすれば、まさに主体的に学習に取り組む態度が表れた一例です。

11

【事例2】 →授業の一例（社会科）

【状況】 過疎化の進む地域で、乗客の減少により大幅な赤字を抱えた鉄道会社が、路線を廃線することを決定、発表した。

【課題1】 路線を廃止することで、起こる問題点を具体的にあげて、その具体的な解決策を考える。なお、廃線後なるべく早く実施すべき解決策（短期的課題の観点から）。

【課題2】 路線の廃止とはかかわりなく、過疎化の進む地域で改善を目指さなければならない問題点と、その具体的な解決策を考える。なお、過疎化の進む地域で、その問題を根本的に改善するような解決策（中・長期的課題の観点から）。

これらの課題に対して、自治体の首長になったつもりで、課題解決の方法を探る授業

2年生の地理的分野で、「過疎化」について学びます。しかし、その知識だけでは答えは出すことができません。様々な知識や情報、想像力を働かせて協働して答えを探る活動です。多くの方は、このような過疎化などの状況におかれた地域に済んだ経験がないので、イメージがわかりません。けれど、少し意識して考えてみると、いたるところにヒントがあります。

12

「学びに向かう力、人間性等」 の評価はどのように見取る？

「学びに向かう力、人間性等」には、「**主体的に学習に取り組む態度**」として**観点別評価**（学習状況を分析的に捉える）を通じて見取ることができる部分と、**観点別評価や評定にはなじまず、こうした評価では示しきれないことから個人内評価を通じて見取る部分**がある。

13

各教科における評価は、集団内の位置付けではなく、学習指導要領に示す各教科の目標や内容に照らして、一人ひとりの学習の状況を評価するものです。

Q 観点別学習状況評価の各観点は、どのように評価されるのですか？

A 「知識・技能」は、各教科等における学習の過程を通じた知識及び技能の習得状況について評価を行うとともに、それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、他の学習や生活の場面でも活用できる程度に概念等を理解したり、技能を習得したりしているかについて評価します。

「思考・判断・表現」は、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために

必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうかを評価します。

「学びに向かう力、人間性等」の「主体的に学習に取り組む態度」は表面に示したとおりです。また、「感性、思いやりなど」については、ABCではなく、一人ひとりのよい点や可能性、進歩の状況、努力や工夫などを積極的に認め、評価し、自信や意欲につなげる評価をし、日常的に伝えます。

Q 家庭として、学校から評価を受けとったら、どのような対応をすればよいですか？

A 児童・生徒一人ひとりが、教科等の目標をどこまで達成したか示していますので、御家庭では、受け取った結果をお子さんと一緒に御覧いただき、よく達成できたところはほめ

て伸ばしていただくように、課題があるところは今後どのように学習していくかを共に考え、次の学習への自信や意欲につなげていくようにしてください。

14

【評価と評定についての要点】を整理すると

- ・学習指導要領が実施されて 6 年目
- ・評価についてはわかりにくい部分も…
それぞれ、教科により異なる部分があるので、授業の中で都度、確認してほしい

各教科、3つの観点でそれぞれ見とり、「評定(1, 2…5)」に総括

└

- (1)知識・技能
- (2)思考・判断・表現
- (3)主体的に学習に取り組む態度

(社会科で例えると…)

まず、社会科の授業を通して身につけさせたい力の一例

→さまざまな出来ごとや資料を、根拠をもって分析し、自身の考えをもち、その考えを他者との交流を通して、必要に応じて再構築し、実生活で現在、未来の活用する力

- (1) **知識・技能** → 客観的に分析するための「基礎」、人の名前、出来事や事実に関する知識
その知識を「どのように」活用するのか、資料の読み取りなど
昔は、資料の厳選… 今は、たくさんの資料を提示し、生徒が必要に応じて取捨選択する力を
- (2) **思考・判断・表現** → 適切な資料を選択したら、それを、自身の考えとして整理し、他者に伝える。
これからの社会では、これが大事
自己完結は× 「対話」をする
- (3) **主体的に学習に取り組む態度** → (一番わかりにくい)以前は、「関心・意欲・態度」で評価
「課題を見出し」もしくは、「課題に対してどのような解決を図るかという」姿勢。
「**自己調整力**」
分からないところがあった場合に、「音読に取り組んで臨む」なども一つの態度。

*感性、思いやりは「個人内評価」であり、これを評価評定に加えるものではない(社会科の例)

(例)「死刑制度の賛成、反対」

「戦争についての判断…戦争はもちろん良くないし起こらないように努力をするべきだ、しかし起こってしまった場合に、事情や状況を判断していくと「戦争をすることが悪」とはならない場合もある(国家の主権と国民の権利を守るためにやむを得ず戦う国もあるが、この国を悪い、と断定はできない)ので、賛否そのものについて個人の意見や考えを評価することは難しい。

⇒これらは、「賛否」を評価するのではなく、その考えに至る経過や自身の考えの根拠、妥当性や学びの変遷を評価

各観点ごとに「AOから C」の5段階で評価

└7 ページ資料のように合計点で「評定」へ総括する。

【国語】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

生徒の学習意欲を高める工夫と、すべての生徒にとってわかりやすい授業の実践

●本年度重点・具体的指導事項

1. 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
2. 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
3. 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、国語を尊重して楚能力の向上を図る態度を養う。

●学習内容

使用教材 国語の教科書（光村図書）、副教材（国語便覧、漢字ワーク、文法ワーク、ファイル

書写の教科書（光村図書）、書写セット（習字道具、えんぴつ等）、プリント、クロムブック、辞書

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年 単元	・オリエンテーション ・朝のりレー	・「はじまりの風」 ・漢字の組み立てと部首 ・硬筆	・「ダイコンは大きな根？」 ・「ちょっと立ち止まって」 ・話の構成を工夫しよう	・「空の詩 三編」 ・「比喩で広がる言葉の世界」 ・「指示語・接続語」 ・意見と根拠	・スピーチ(弁論) ・「大人になれなかつた弟たちに」 ・毛筆、硬筆	・「星の花が降るころに」 ・「言葉」をもつ鳥、シジュウカラ	・音読を楽しもう「いろは歌」 ・「方言と共通語」 ・「漢字の音訓」	・「蓬萊の玉の枝」 ——「竹取物語」から ・「不便」の価値を見つめなおす ・書写毛筆「書初め」	・「今に生きる言葉」 ・文法	・漢字に親しもう「少年の日の思い出」 ・文法	・「漢字の成り立ち」 ・1年間の学びを振り返ろう
2年 単元	・オリエンテーション ・詩「見えないだけ」 ・小説「アイスプラネット」	・古文「枕草子」 ・報告「クマゼミ増加の原因を探る」 ・漢字「熟語の構成」 ・随筆「言葉の力」	・文法1「自立語」 ・新しい短歌のために ・言葉「類義語・対義語・多義語」 ・随筆「言葉の力」	・小説「ヒューマンノイド」 定期テスト ・書く「表現を工夫して書こう」 ・弁論文を書こう	・随筆「字のない葉書」 ・言葉「敬語」 ・弁論発表	定期テスト ・漢字「同じ訓・同じ音を持つ漢字」 ・論説「モアイは語る」 ・詩「月夜の浜辺」	・古文「平家物語」 ・古文「徒然草」 ・漢詩「漢詩の風景」	・評論「君は最後の晩餐を知っているか」 ・文法2「用言の活用」 ・毛筆書写・硬筆書写	・小説「走れメロス」 ・文法3「付属語」	・立場を尊重して話し合おう ・詩「鍵」	・描写を工夫して書こう ・国語の学びを振り返ろう ・漢字3「送り仮名」
3年 単元	・オリエンテーション ・文法(2年の復習も含む) ・詩「世界はうつくしいと」	・小説「握手」 ・論説「作られた『物語』を超えて」 ・熟語の読み方	・俳句の可能性 ・学びて時に之を習ふー「論語」からー ・慣用句・ことわざ・故事成語	・報道文を比較して読もう ・俳句を味わう ・説得力のある構成を考えよう ・弁論文を書こう	・和語・漢語・外来語 ・「推敲」論理の展開を整える ・弁論発表	・「夏草一奥の細道から」 ・文法への扉1・2 ・小説「故郷」	・相手や場に応じた言葉遣い ・随筆「言葉の釣り糸を垂らす」 ・漢字の造語力	・「君待つと一万葉・古今・新古今」 ・実用的な文章を読もう ・詩「挨拶一原の写真に寄せて」 ・書写	定期テスト ・論説「複数の意見を読んで、考えよう」 ・詩「わたしを束ねないで」	・百人一首 ・3年間の歩みを振り返ろう	

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。	・定期テスト ・小テスト ・提出物の内容など
2 思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	・定期テスト ・提出物の内容など
3 主体的に学習に取り組む態度	自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤して取り組もうとする。粘り強く課題に取り組もうとする。	・授業中の活動に対する取り組みの様子 ・提出物の内容など

●学習アドバイス

- 積極的に教科書を音読しましょう。音読をすることで、内容の理解を深めることができます。また、音読することで脳を活性化させる効果も認められています。
- 説明文や論説文では、語句の意味を確認し、文章の構成を捉えましょう。段落の役割を考えたり、指示する語句や接続する語句に注目したりすると、文章の構成を捉えやすくなります。
- 物語文では、場面ごとの出来事や、登場人物の心情の変化をまとめましょう。その時、感情を表す言葉や行動、情景描写などに着目することが大切です。
- 漢字は繰り返し学習し、わからない言葉は辞書を引く習慣をつけましょう。知識を身につけるには、反復することが大切です。テスト前だけでなく日頃から学習する習慣を作りましょう。
- 日頃からいろいろな文章を読む機会をつくり、読解力を身につけましょう。

【社会】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

多面的・多角的な視点を養い、主体的に学習に取り組む態度を養う社会科の授業

●本年度重点・具体的指導事項

1. 主体的に学習に取り組む態度を養う課題解決的な学習の実践
2. 多面的・多角的に考察する学習の実践
3. 対話的な学びの実践（少人数学び合いの授業展開）

●学習内容

使用教科書「地理」（帝国書院）・「歴史」（教育出版）・「公民」（教育出版）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	(地理)世界の姿 日本の姿 (歴史)「歴史のつらえ方・調べ方」 「人類の出現と文明のおこり」		(歴史)「日本の成り立ちと 倭の王権」「大帝国の出現と 律令国家の形成」「貴族社 会の発展」		(地理)「人々の生活と環境」 「アジア州」「ヨーロッパ州」		(地理)「アフリカ州」「北アメリカ州」 「南アフリカ州」「オセアニア州」 (歴史)「武家政治の始まり」			(歴史)「ユーラシアの動きと武家政治の 変化」「結びつく民衆と下剋上の社会」 「結びつく世界との出会い」 「天下統一への歩み」		
2年	(歴史)第4章「近世の日本と世界」4節「経済の成長と幕政 の改革」第5章「日本の近代化と国際社会」1節「近代世界 の確立とアジア」、2節「開国と幕府政治の終わり」				(地理)第3部第2章「日 本の地域的特色」		(地理)第3章「日本の諸地域」 第4部第1章「地域のあり方」			(歴史)第5章「日本の近代化と国際社会」3節 「明治維新と立憲国家への歩み」、4節「激動する 東アジアと日清・日露戦争」		
3年	(歴史)第6章 二度の世界大戦と日本 第7章 現代の日本と世界		(公民)私たちの暮らしと現代社会 人間を尊重する日本国憲法			(公民)私たちの暮らしと民主政治 私たちの暮らしと経済			(公民)安心して豊かに暮らせる社会 国際社会に生きる私たち			

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法*下記は、学年、単元により一部異なる場合があります
1	知識・技能	概念などに関する知識として獲得しているのか、様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト、章確認テスト等 ・レポート、各プリント類等の提出物の記述内容など
2	思考・判断 ・表現	社会的事象の意味や意義などを多面的・多角的に考察する力や社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断する力、それらを基に議論したりする力を評価する。	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・小テスト、章確認テスト等 ・レポート、各プリント類等の提出物の記述内容など ・授業での活動に対する取り組みのようす
3	主体的に 学習に取り 組む態度	社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を評価する	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の活動に対する取り組みのようす ・小テスト、章確認テスト等（この観点は、定期テストは実施しない） ・レポート、各プリント類等の提出物の記述内容など

●学習アドバイス

- ① 社会科では多面的・多角的に理解していることが大切。「鎌倉幕府を開いたのは誰か」⇒「源頼朝」が覚えられていれば良いのではなく、「なぜ鎌倉幕府は鎌倉に開かれたのか」、「幕府の組織の特徴は何か」といった解説が自分の言葉でできるかがポイントになる。
- ② 各プリントにある考察やまとめは、授業でやったことをすべてまる写しするのではなく、授業ごとのテーマに即した形でまとめる。その際に自分なりの言葉でまとめていくことが理解を早めていく。
- ③ 各分野によって作り方は違うが、ノートにまとめていくという勉強方法もよい。例えば歴史は年表形式、地理は略地図を入れて視覚的に作るなどをすると、自分の理解度が増す。（特に「書く」という作業が大切。）
- ④ 「文章を書く（苦手な人は時間がかかって良いので練習を）・・・思考の文章化、言語化」「コミュニケーション」「反応」を意識して活動をする。わからないことは早めに解決すること。
- ⑤ 授業前に「音読」をしておく。教科書の「大切」だと思ふところ、「意味が分からない」ところを確認し、事前に意味調べなどを行うとよい。

【数学】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

主体的に学びに向かう姿勢を育む授業実践

●本年度重点・具体的指導事項

1. 数量や図形などについての基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得
2. 問題を解決するために必要な数学的な思考力・判断力・表現力の育成
3. 数学のよさを知り、数学と実社会との関連についての理解を深め、数学を主体的に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を評価・改善したいしようとするなどの、数学的に考える資質・能力の育成

●学習内容

使用教科書「中学数学1・2・3」(教育出版)、数学の学習ノート(正進社)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	1章 整数の見方	2章 正の数、負の数	3章 文字と式	4章 方程式	5章 比例と反比例	6章 平面図形	7章 空間図形	8章 データの分析				
2年	1章 式の計算	1章 式の計算 2章 連立方程式	2章 連立方程式	3章 1次関数	4章 平行と合同	5章 三角形と四角形	6章 確率	7章 データの分析				
3年	1章 式の計算	2章 平方根	3章 2次方程式	4章 関数 $y=ax^2$	5章 相似な図形	6章 円 7章 三平方の定理	8章 標本調査	中学数学1～3年 総復習、入試問題				

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学で用いられる語句の意味や、数量や図形などの性質を理解することができる。学んだことの利用法を理解することができる。 ・ 数量についての演算ができる。目的に応じて式を変形することができる。数量や図形の性質について説明することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 提出物の内容など
2 思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的課題について、解決までの過程を確かな根拠を用いて筋道を立てて考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定期テスト ・ 小テスト ・ 提出物の内容など
3 主体的に 学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 数学的活動の楽しさや数学のよさを実践して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業へ取り組む姿勢、提出物の内容など

●学習アドバイス

- ① ノートは黒板を写すだけでなく、自分なりに工夫して書くこと。授業のポイントや考え方を自分なりにまとめて記入すること。提出物などは、期限を守って提出すること。提出物なども解くだけでなく、まとめたり、解き直したりすること。
- ② 問題集は教科書の範囲に対応しているので、授業や家庭での復習で繰り返し取り組むこと。また、分からない問題はそのままにせず担当の教員に積極的に質問すること。
- ③ 定期テストに向けて、授業内容・使用したプリント・問題集を中心に復習すること。分からない問題は学習会や授業の合間などに積極的に質問すること。

【理科】の学習・評価について

●本年度研究テーマ

科学的な思考力を育成する指導の工夫

●本年度重点・具体的指導事項

1. 課題設定と予想を重視した授業づくり
2. 観察・実験を通じた根拠に基づく考察の充実
3. 対話的な学びによる思考の深化

●学習内容

使用教科書「未来へひろがるサイエンス」(啓林館)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1年	単元 自然の中にあふれる生命 ・観察のしかた ・身のまわりの生物の観察	いろいろな生物とその共通点 ・植物の特徴と分類 ・動物の特徴と分類		光・音・力による現象 ・光による現象 ・音による現象 ・力による現象			身のまわりの物質 ・いろいろな物質とその性質 ・いろいろな気体とその性質 ・水溶液の性質			身のまわりの物質 ・物質の状態とその変化	活きている地球 ・身近な大地 ・ゆれる大地 ・火をふく大地	定期テスト	活きている地球 ・暮る大地
2年	単元 地球の大気と天気の変化 ・地球をとり巻く大気の様子 ・大気中の水の変化 ・天気の変化と大気の動き ・大気の動きと日本の四季	定期テスト	化学変化と原子・分子 ・物質の成り立ち ・物質の表し方 ・さまざまな化学変化 ・化学変化と物質の質量	定期テスト	生物の体のつくりとはたらき ・生物の体をつくるもの ・植物の体のつくりとはたらき ・動物の体のつくりとはたらき ・動物の行動のしくみ	定期テスト	電流とその利用 ・電流の性質 ・電流の正体 ・電流と磁界					定期テスト	電流とその利用 ・電流と磁界
3年	単元 化学変化とイオン ・水溶液とイオン ・電池とイオン ・酸・アルカリとイオン		生命の連続性 ・生物のふえ方と成長 ・遺伝の規則性と遺伝子 ・生物の種類の多様性と進化	運動とエネルギー ・力の合成と分解 ・物体の運動 ・仕事とエネルギー ・多様なエネルギーとその移り変わり			地球と宇宙 ・地球から宇宙へ ・太陽と恒星の動き ・月と金星の動きと見え方	定期テスト	自然と人間 ・自然界のつりあい ・さまざまな物質の利用と人間 ・科学技術の発展 ・人間と環境 ・持続可能な社会を目指して				

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	基本的な概念や原理原則の理解。観察・実験の基本操作や記録などの技能。	・定期テスト ・小テスト ・観察・実験レポートなど
2 思考・判断 ・表現	知識や技能を活用して課題を解決するために必要な思考力。観察・実験などの結果を分析して科学的な根拠を基に判断・表現する力。	・定期テスト ・小テスト ・観察・実験レポートなど
3 主体的に 学習に取り組む態度	自然の事物・現象に進んで関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究する力。学習内容に関心をもって、よりよく学ぼうとする意欲。	・授業への取り組み ・観察・実験レポートなど ・提出物の内容など

●学習アドバイス

- ① 理科を学ぶ上で大切なのは、学んだことが周りの自然現象にどう結び付くか考えることです。日ごろから身のまわりにアンテナを張って、様々な自然現象に興味をもつようにしましょう。
- ② 忘れ物をしないことや、提出物の期限を守って提出することを意識しましょう。
- ③ ノートやプリントに書く内容は黒板をそのまま写すだけでなく、自分なりに工夫して書きましょう。
- ④ 一つ一つの用語をただ覚えるだけでなく、自分でその用語の意味を説明できるようになっておくことが必要です。ただ暗記するだけの教科ではないということを確認しておきましょう。
- ⑤ 日々の授業を復習することが大切です。問題集や練習問題プリントなどで繰り返し多くの問題に取り組み、知識を定着できるようにしましょう。

【音楽】科の学習・評価について

●本年度の研究テーマ

音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的に学習に取り組む授業

●本年度の重点・具体的指導事項

- 1, 主愛的に学習に取り組む態度を養い、意欲的に学習に取り組み実践
- 2, 教材を通して音楽的技術の向上
- 3, 対話的学習と感受する力を育む授業の実践

●学習内容

使用教科書 教育芸術社 音楽・器楽(各学年)・My Song(合唱曲集)

月	4月	5月	6月	7(8)月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年内 年音	・美しい響きで歌い合わせよう。 「桜歌」「おれ様」 発声の方法		・芸術歌曲の豊かな音楽表現を感じ取る。 「魔王」	・温声合唱の響きに頼もう。 「夢の世界を」 「夏の日廻り物」	・美しく豊かな響きで曲にふさわしい表現を工夫しよう。 「合唱コンクール学年合唱曲・クラス曲」		・日本の歌曲に頼もう。 「赤とんぼ」 「浜辺の歌」	・イメージをもちたらず音楽の秘密を探ろう。 「ジョーズのテーマ」 四季より「春」	・日本の音楽に頼もう。 「さくらさくら」 「六段の調」	・リズム創作に頼もう。 ・美しい響きで豊かな曲を表現しよう。 「三送会・卒業式に向けた合唱曲」	
2年内 年音	・美しく豊かな響きで表現を工夫しよう。 「涙をください」	・宮調と旋律のかかりを感じ取って表現しよう。 「夏の思い出」	・多声的な音楽に頼もう。 「フーガ短調」	・美しく豊かな響きで曲にふさわしい表現を工夫しよう。 「合唱コンクール学年合唱曲・クラス曲」		・交響曲の豊かな響きを味わおう。 「交響曲第5番」	・オペラに頼もう。 オペラ 「アイダ」他	・楽器の音色に頼み創作しよう。	・全体の響きの調和を感じ取って心に響く合唱をしよう。 「三送会・卒業式に向けた合唱曲」		
3年内 年音	・日本歌曲の美しさを味わおう。 「花」 ・温声4部合唱の豊かな響きを表現しよう。		・作曲者の思いを感じ取る。 「ブルタバ」	・美しく豊かな響きで曲にふさわしい表現を工夫しよう。 「合唱コンクール学年合唱曲・クラス曲」		・日本の伝統音楽のよさを味わおう。 「歌舞伎動運帳」	・リズム創作を工夫してみよう。	・音楽のまとの感動的な合唱をつくりあげよう。 「三送会・卒業式に向けた合唱」			

●評価の項目と評価方法

評価の観点	内 容
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・学習の理解に関連すること(定期テストの取り組みや学習プリントの記入内容) ・実技の内容にふさわしい奏法の理解(授業内容や実技テストの取り組み) ・音楽表現の技能(実技テストの取り組み・曲想にふさわしい奏法の取り組み) ・鑑賞の学習内容の理解(プリントへの記述・取り組み)
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・音楽表現に創意工夫をもって学習に取り組むこと(学習内容の記述や話し合いなどの取り組み) ・演奏する際に自分の考えや思い、意図をもって取り組むこと(プリントへの記述・話し合い活動での授業内観察) ・鑑賞活動では音楽のよさや美しさを味わって聴くこと(プリントへの記述・授業内の発言、授業内観察)
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での課題に取り組む姿の評価(授業での取り組み・実技テストの内容・課題への取り組み)

●使用教材

日本楽器の習得として「箏」に1・2年次に取り組みます。

実習費として一人¥250を諸経費として徴収させていただきます。

●学習アドバイス

- ①「音を楽しむ」授業ですので、積極的かつ意欲的に取り組みましょう
- ②プリントや楽譜など記入すべき内容を確実に記入して「概ね到達しています」の評価を取りましょう。
- ③内容的に得手不得手はありますが、全員ができる内容を意識している授業です。努力してください。

【美術】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

造形的な見方・考え方を働かせ、主体的に学習に取り組む態度を養う授業実践

●本年度重点・具体的指導事項

1. 表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的なものの見方・考え方を育む。
2. 生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成する。
3. 美術を愛好し、主体的に学習に取り組む態度が養われる手立てを工夫する。

●学習内容

使用教科書「美術1」「美術2・3上」「美術2・3下」(日文)、「美術資料」(秀学社)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	オリエンテーション 色の整理	色について	文字で楽しく伝える	ポスターについて	暮らしの中の工芸			スケッチ	屏風絵 (鑑賞)	粘土クロッキー		
2年	オリエンテーション 浮世絵	日本美術から世界へ	構図と遠近法	ポスターについて	瞬間の美しさを形に			スケッチ	水墨画		パブリックアート	
3年	オリエンテーション	細部に宿る仏のちから	抽象彫刻		自分を見つめる				卒業記念制作 (サド・プラストの技法)			

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法
1	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・制作した作品 ・制作過程 ・定期テスト ・授業内プリント
2	思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・計画表などのプリント ・鑑賞会のプリント ・制作過程 ・定期テスト
3	主体的に 学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの学習活動において「知識及び技能」を獲得したり、「思考力、判断力、表現力等」を身につけたりすることに向けた、粘り強い取り組みを行おうとする。 ・粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の記録やプリントなど ・取り組む姿勢

●学習アドバイス

- ① 3年間の中で、様々な材料にふれ、幅広い造形活動ができるように計画を立てているので、身のまわりの色や形、材料に関心を持ち、活動してほしいと考えています。
- ② 制作の際には課題をよく考え、自分なりの工夫を加えていくことが大切です。明確なイメージを持ち、具体化できるように努力してください。答えは一つではありません。
- ③ 答えのない課題に、自分の考えがもてるようにしていきましょう。

【保健体育】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

見方・考え方を働かせ、主体的に学習に取り組む姿を通して、できる喜びを味わうことができる学習指導

●本年度重点・具体的指導事項

1. 見方・考え方を働かせる学習指導の充実
2. 主体的に学習に取り組む態度を養う学習の実践
3. できる喜びを実感できる学習の実践

●学習内容

使用教科書「保健」(東京書籍)、「体育」(学研)

●川崎市立橋中学校保健体育科年間指導計画

105時間

学期	前期																		後期																	
月	4			5			6			7			8			9			10			11			12			1			2			3		
学期	前期																		後期																	
週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	
行事等	入学式・始業式	川崎学習状況調査		体育祭		新体力テスト		中間テスト	修学旅行・2年校外学習			三者面談		期末テスト			合唱コンクール	始業式	文化祭	進路面談		3年中間テスト		1・2年中間テスト			自然教室、2年理体体験	3年学年末テスト		1・2年学年末テスト			卒業式・修了式			
時間数	週3時間																																			
第1学年 (4クラス展開)	体づくり運動(6)	【ローテ①】(16) 器械運動 バレーボール ソフトボール ダンス							水泳(7)	【ローテ②】(16) バレーボール ソフトボール ダンス 器械運動							【ローテ③】(16) ソフトボール ダンス 器械運動 バレーボール						【ローテ④】(16) ダンス 器械運動 バレーボール ソフトボール						体づくり運動(5)	体づくり運動(11) 器械運動(16) 水泳(7) 球技1ネット型(16) 球技2ベースボール型(16) ダンス(16) 体育理論(3) 保健(20) 合計105						
第2学年 (4クラス展開)	体づくり運動(6)	【ローテ①】(16) 器械運動 バレーボール ソフトボール 柔道							水泳(7)	【ローテ②】(16) バレーボール ソフトボール 柔道 器械運動							【ローテ③】(16) ソフトボール 柔道 器械運動 バレーボール						【ローテ④】(16) 柔道 器械運動 バレーボール ソフトボール						体づくり運動(5)	体づくり運動(11) 器械運動(16) 水泳(7) 球技1ネット型(16) 球技2ベースボール型(16) 柔道(16) 体育理論(3) 保健(20) 合計105						
第3学年 (4クラス展開)	体づくり運動(3)	【選択Ⅰ-1】(20) 陸上競技 器械運動 ダンス						【選択Ⅰ-2】(20) 陸上競技 器械運動 水泳						【選択Ⅱ-1】(20) バレーボール ソフトボール バスケットボール 柔道						【選択Ⅱ-1】(20) バレーボール ソフトボール バスケットボール						体づくり運動(3)	体づくり運動(3) 選択Ⅰ-1(20) 選択Ⅰ-2(20) 選択Ⅱ-1(20) 選択Ⅱ-2(20) 体育理論(3) 保健(19) 合計105									

()数字:時間数

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価項目	評価方法
1 知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の特性・ルール・技術についての理解・実践 ・課題の解決方法 ・課題の達成 ・技能の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト ・学習カードの記述・振り返りの内容 ・授業内での観察
2 思考・判断 ・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・練習の仕方や発表の仕方や工夫 ・適切なアドバイスや声掛け ・仲間との関わりや話し合い 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記述・振り返りの内容 ・授業内での観察
3 主体的に 学習に取り 組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・授業内での仲間との関わり ・授業中の取り組みの様子 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの提出物 ・授業内での観察

●学習アドバイス

①学ぼうとする力（主体的に学習に取り組む態度）

各種目の技能を向上させ知識を身につけるためには意欲が大切です。意欲を持つためには、一人一人が 目的を持ってその運動に取り組んでいくことが必要となります。授業を通して仲間と関わる中で、自分や 仲間の特徴を理解し、それぞれの力に適したねらいを持って活動できることが望ましいです。

②学ぶ力（思考・判断・表現）

学ぶ力を伸ばし、ねらいを達成させるために、一人一人が常に課題を持ち、その課題をどのように解決するかを考えながら学習を進めていくことが必要です。また、運動の仕方や練習場所の工夫、学習での協力・教え合いといったことも大切です。

③学んで得た力（知識・技能）

授業では、運動を楽しむために必要な「基本的技能」を確実に身につけることを目標としています。それぞれの種目について得た知識により、運動の技能を身につけるなど、知識と技能を一体化させて学習できるようにすることが大切です。

【技術・家庭】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

体験的活動を通して、自分の学習と生活を結びつける授業の工夫

●本年度重点・具体的指導事項

1. 実践的体験的学習活動と自らの生活を結びつける考え方を養成する。
2. 自らの生活を見直し、課題を見つけ、解決しようとする態度を育てる。
3. グループでの活動を通して自分の意見を表現する力や、他人の意見を聞く姿勢を養う。

●学習内容

使用教科書「新しい技術・家庭 技術分野」(東京書籍)「新しい技術・家庭 家庭分野」(東京書籍)

	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
第1学年	技術 題材項目	生活や社会を支える材料と加工の技術		身の回りを整理するための製品の設計・制作								生活や社会を支える生物育成の技術	
	家庭 題材項目	快適な衣生活をめざそう								快適な住まいを考えよう			
第2学年	技術 題材項目	生活や社会を支える生物育成の技術・生物育成の技術による問題解決			エネルギー変換の仕組みを知ろう LEDライトの制作					スクラッチを使った双方向通信のプログラミング			
	家庭 題材項目	成長期にふさわしい中学生の食生活を考えよう					よりよい食生活をめざして日常食の調理をしよう			環境に配慮した消費者になろう			
第3学年	技術 題材項目	コンピュータの仕組み 情報通信ネットワークの仕組み		様々な状況で公立よく走れる電気自動車を考えよう					社会の発展と情報の技術		これからの技術について考える		
	家庭 題材項目	幼児とふれあおう							家族関係について考えよう				

●評価の項目と評価方法

評価の観点		評価項目	評価方法
1	知識・技能	○生活の自立に必要な、基礎的・基本的な知識・技能を身につけているか評価します。	・定期テスト・実技テスト・製作した作品・実習への取り組みの様子など
2	思考・判断 ・表現	○知識及び技能を活用した、課題の解決をするための思考力、判断力、表現力を評価します。	・単元のまとめプリント、副教材、振り返りやレポートなどの記述(論述・考察)の内容など
3	主体的に 学習に取り組む態度	○生活をよりよくするために、授業の内容に課題をもって主体的に取り組んでいるかを評価します。	・提出物(授業の振り返りプリント、レポート、副教材)の内容など ・授業の取り組みの様子

●学習アドバイス

- ① 1, 2年生は週に1回、3年生は2週に1回の授業です。少ない時間数ですから、その時の授業を大切に、教師の指示をよく聞き、授業のねらいをしっかり把握するように努めましょう。
- ② 主に提出物での評価に重きを置いている観点は「思考・判断・表現」と「主体的に学習に取り組む態度」です。期限を守って提出することはもちろんですが、内容に自分なりの工夫が見られると良いと思います。
- ③ 作品を作る際には、丁寧な作業と時間内に完成させることを心掛けましょう。教師の指示や、配布されたプリントをよく確認し、作業の工程について見通しを持ちましょう。そうすることで、「自分はどこに時間をかけることができるのか」を考えることができ、作業の能率が上がります。

【英語】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

主体的に学び、積極的にコミュニケーションをとろうとする生徒の育成。

●本年度重点・具体的指導事項

1. 外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり、表現したり、伝え合ったりする。
2. 学びあいを通じて積極的にコミュニケーションを図る資質・能力を育成する

●学習内容

使用教材 ○教科書 ○副教材（ワークブックなど） ○教師が作成した資料、プリント ○クロムブック

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年	・自分の名前を読んだり書いたりしよう ・英語であいさつしてみよう。 ・自己紹介してみよう	・自分の好きなもの、得意なことを英語で伝えよう。 ・自分の好きじゃないもの、得意でないことを英語で伝えよう	・相手の好きなものを聞いてみよう。 ・世界のあいさつや中学生の様子を知ろう	・自分と相手を伝える言い方を整理しよう。 ・相手の身近な人について英語で質問してみよう。	・身近な人を紹介してみよう。 ・相手の身近な人について英語で質問してみよう。	・観光プランを考えるために、相手の時間と場所の希望を聞こう。 ・落し物の持ち主を探してみよう。	・紹介文から、その人が誰かを読み取ろう。 ・身近な人を紹介する文を書きしてみよう。	・バスの時刻についての質問に答えよう。 ・行きたい場所の行き方をたずね合おう。	・冬休みの出来事や感想などを伝えてみよう。 ・過去の出来事や状態などを伝える言い方を理解しよう。	・写真を見て、その場の状況を説明してみよう。 ・している最新の言い方を整理しよう。	・物語からあらすじを読み取ってみよう。学校の魅力を伝える動画を作ってみよう。
2年	・1年生の復習 ・過去の出来事や状態などを伝える言い方を整理しよう	・「好きなこと」や「したいこと」をたずね合ってみよう。 ・「～すること」の言い方を整理しよう。	・自分の予定や希望を伝えるメールを書いてみよう。 ・未来のことを伝える言い方を整理しよう。	・アナウンスから必要な情報を聞き取ろう。 ・自分の街の観光プランをおすすめしよう。	・ガイドブックから必要な情報を取り取ろう。 ・その場所にあるものやできることを紹介してみよう	・防災バッグに入れるものを話し合ってみよう。 ・ポスターや掲示物から自分が必要とする情報を読み取ろう。	・体験したことやボランティアの感想を報告したり、レポートを書いたりしてみよう。 ・文と文を繋ぐ言葉を整理しよう。	・世界で活躍する人たちについて知ろう。 ・職業診断のチャートを作ろう。	・ポスターの説明から、その特色を読み取ろう。 ・何かを比べて伝える言い方を整理しよう。	・手紙や作者や大まかな内容に触れて、好きな作品を紹介してみよう。 ・受け身の言い方を理解しよう。	・色々な国について知ろう。 ・日本の面白いものを紹介しよう。
3年	・2年生の復習 ・読んだ記事やニュースについて、意見を発表してみよう	おススメの場所について、その場所の経験やしたことなどを伝え合ってみよう。 ・その場所での経験やしたことについて伝える言い方を整理しよう。	・買い物で用いている表現について学び、実際に使ってみよう。 ・現在完了の表現を使って、相手に伝えたり、質問したりしてみよう。	・日記から出来事や気持ちを読み取り、筆者について想像したことを伝え合おう。 ・「現在」と「過去」の相違点を挙げよう。	・投稿文から、それぞれの意見の要点を読み通そう。 ・読んだ文章について、感想や自分の意見を書いてみよう。	・関係代名詞を使った文について整理しよう。 ・プレゼンテーションについて感想や考えを伝え合ってみよう。	・絵に相応しい台詞を考えて発表しよう。 ・名詞の後ろに説明を追加する言い方を整理しよう。	・今の自分の様子を伝えるスピーチをしてみよう。 ・3年間を振り返って、自分の気持ちを伝える手紙を書いてみよう。	・3年間の学習の総復習。 ・分量の多い長文や物語を読んで、内容や趣旨を理解しよう。	・3年間の学習事項：総復習 ・3年間の学習を締めくくる * 1～3年とも、6月と11月に定期テストを実施。 * 学年末テストは、1・2年は2月、3年は1月に実施	

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価の内容・方法
知識・技能	・「定期テスト」・「授業時間内の小テスト」・「パフォーマンステスト（会話、スピーチ）」など * 学習した内容が知識として身につけているか、身につけたことを活用する場面や方法を理解しているかを評価します。
思考・判断・表現	・「定期テスト」 ・「パフォーマンステスト」 ・「授業中の表現活動」 など * 場面や状況を考え、工夫して自分の考えや気持ちなどを英語で話したり、書いたりして表現しているかを評価します。
主体的に学習に取り組む態度	・「授業中の表現活動」・「レポート、ノート等の提出物」・「パフォーマンステスト」など * 自分の力を伸ばすために、自分で目標をもち、目標の実現に向けて工夫をし、反省点や改善点を見つけて調整しようとしているか * 聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的にコミュニケーションを図ろうとしているかを評価します。

●学習アドバイス

- ① 授業を大切にしましょう。先生やクラスメートと積極的に英語でコミュニケーションを取りましょう。英語を通してお互いを理解しようとするのが、すべての活動の基本となります。
- ② 学習に支障がでないよう、準備をして授業にのぞみましょう。忘れ物をしないようにすることや、提出物の期限を守って提出することなどは、効果的に学習をすすめる上でとても大切です。
- ③ 英語は積み重ねの教科です。わからないこと、できないことをそのままにすると、次に学習する内容がさらに難しくなります。自分の「つまずき」を発見、確認するためにも授業で学習したことの復習をこまめにしましょう。(例えば)
・ 学習した単語や本文を声に出して、スラスラ読めるまで練習する。→ ・ ノートに書いて練習する。など繰り返して声に出して読んだり、書いたりして、学習内容の理解と定着につとめましょう。

【道徳】科の学習・評価について

●本年度研究テーマ

豊かな心を育む道徳教育の研究 ～話し合い活動と体験活動を通して～

●本年度重点・具体的指導事項

- 1、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値について理解する。
- 2、話し合い活動を通して、物事を多面的・多角的に捉え、自己の生き方について考えを深める。
- 3、体験活動などから、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

●学習内容

使用教科書「きみがいちばんひかるとき」(光村図書)

A.主として自分自身に関すること	C.主として集団や社会の関わりに関すること
(1)自主、自律、自由と責任	(10)遵法精神、公德心
(2)節度、節制	(11)公正、公平、社会正義
(3)向上心、個性の伸長	(12)社会参画、公共の精神
(4)希望と勇氣、克己と強い意志	(13)勤労
(5)真理の追究、創造	(14)家族愛、家庭生活の充実
	(15)よりよい学校生活、集団生活の充実
	(16)郷土の伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度
	(17)我が国の伝統と文化の尊重、国を愛する態度
	(18)国際理解、国際貢献
B.主として人との関わりに関すること	D.主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること
(6)思いやり、感謝	(19)生命の尊さ
(7)礼儀	(20)自然愛護
(8)友情、信頼	(21)感動、畏敬の念
(9)相互理解、寛容	(22)よりよく生きる喜び

●評価の項目と評価方法

評価の観点	評価の内容	評価の方法
多面的・多角的な 見方・考え方	一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させようとしているか	・授業中の活動(個人活動、グループ活動)に対する取り組みの様子。 ・ワークシートの内容
自己を見つめる	道徳的な価値の理解を自分自身との関わりの中で深めようとしているか	・授業中の活動(個人活動、グループ活動)に対する取り組みの様子。 ・ワークシートの内容

●学習アドバイス

- ① 『自分との関わりで捉え、考える』
問題意識をもって授業に取り組み、読み物教材の場合は、登場人物の心情理解のみに終始しないように気を付けましょう。何事も自分事として考えることが大切になります。
- ② 『多面的・多角的に考える』
対話的な学びとして、話し合いや交流の時間は積極的に自分の考えを発信し、友達の意見をしっかりと聞きましょう。自分だけの考えだけにならないように客観的に物事をとらえることも意識しましょう。
- ③ 『自己の生き方について考えを深める』
自分自身が感じたことや考えたことを大切に、今までの経験やこれからのことをふまえて柔軟な物事の考え方をしていけると、より自己の考えを深めることができるでしょう。

【特別活動】について

1. 特別活動の重点目標

- 学級活動の充実を図り、自主的・自律的態度を養う
- 学級活動や学校行事への活動を通して、学級集団・学年集団の力を向上させる
- 生徒会活動を充実させ、リーダーを中心とした集団生活の向上を図る

2. 活動内容

○学級活動

- 【1年】生徒一人一人が集団の一員としての自覚を持ち、積極的に学級活動に参加する態度と心を養う。
- 【2年】生徒一人一人が意欲的に活動し、学級集団としての力を向上させる。
- 【3年】学校のリーダーとしての自覚を持ち、自主的・主体的な集団としての力を向上させる。

○生徒会活動

- ・学校生活の改善・向上を目指して、協力して諸活動に取り組もうとする自主的・実践的な態度を育てる。
- ・各委員会間の連携と活動の活性化を目指す。

○学校行事

- ・学校行事を通して、集団の一員であることを自覚し、集団への所属感や連帯感を深め、協力してよりよい学校生活を送ろうとする態度の育成を図る。

3. 特別活動の評価の観点と規準

観点	よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
規準	学級や学校の生活上の諸問題を話し合っ解決することや他者と協働して取り組むことの大切さを理解している。 合意形成の手順や活動の方法を身に付けている。	学級や学校の生活をよりよくするための課題を見いだすことができる。 課題解決に向け、話し合い、多様な意見を生かして合意形成を図り、協働して実践している。	学級や学校における人間関係を形成し、見通しをもったり振り返ったりしながら、他者と協働して日常生活の向上を図ろうとしている。

4. 年間計画

令和8年度 特別活動 学習内容

生徒会年間スローガン
虹～色とりどりに光り続けろ～

教育目標	○学級活動の充実を図り、自主的・自律的態度を養う	【1】学級や学校における生活づくりへの参画に関すること
	○学級活動や学校行事への活動を通して、学級集団・学年集団の力を向上させる	【2】日常生活や学習への適応と自己の成長及び健康に安全に関すること
	○生徒会活動を充実させ、リーダーを中心とした集団生活の向上を図る	【3】一人ひとりのキャリア形成と自己実現に関すること


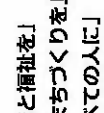
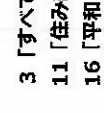

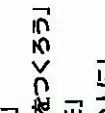
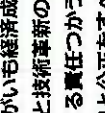
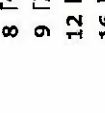

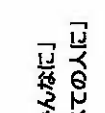


	4月	5月	6月	7月	8-9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年 内容	○中学校生活のはじまり ・中学生になったの決意 ・共生共育 ○学級開き ・学級編成づくり ・係、委員会決め ・学級理想像決め ・掲示物作成 ・体育祭の準備・マスコット決め ○生徒会活動・部活動を理解しよう ・対面式 ・新入生オリエンテーション(生徒会・部活動) ○学年集会	○体育祭 ・体育祭目標決め ・選手決め ・体育祭振り返り ○生徒総会 ・生徒総会前子読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会役割研修会	○学習計画 ・学習計画表作成 ○話し合い活動 ・学級会	○壮行会 ○学年集会 ○話し合い活動 ・学級会	○学年集会 ○合宿コンクール ・合宿コンクール目標決め ・合宿練習	○学級編成づくり ・係、委員会決め ・掲示物作成 ○掲示物 ・展示準備 ・しおり読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会 ○合宿コンクール ・合宿練習	○話し合い活動 ・学校理想像達成のための取組	○冬休みに向けて ○話し合い活動 ・学級会 ○学習計画 ・学習計画表作成	○自然教室 ・班編成 ・係別会議 ・振り返り ○話し合い活動 ・生徒会スローガン案 ○三選会 ・審議	○自然教室 ・班編成 ・係別会議 ・振り返り ○話し合い活動 ・生徒総会 ・前子読み合わせ ○三選会 ・審議	○球技大会・百人一首 ・選手決め ○学年集会 ○最後の学活
2年 内容	○中学校生活について ・共生共育 ○学級開き ・学級編成づくり ・係、委員会決め ・学級理想像決め ・掲示物作成 ・体育祭の準備・マスコット決め ○生徒会活動・部活動について ・対面式 ・新入生オリエンテーション(生徒会・部活動) ○学年集会	○体育祭 ・体育祭目標決め ・選手決め ・体育祭振り返り ○生徒総会 ・生徒総会前子読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会役割研修会	○学習計画 ・学習計画表作成 ○話し合い活動 ・学級会 ・事後学習	○壮行会 ○学年集会 ○話し合い活動 ・学級会	○学年集会 ○合宿コンクール ・合宿コンクール目標決め ・合宿練習	○学級編成づくり ・係、委員会決め ・掲示物作成 ○掲示物 ・展示準備 ・しおり読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会 ○合宿コンクール ・合宿練習	○話し合い活動 ・学校理想像達成のための取組 ○道路・キャリア教育 ・面接シート	○冬休みに向けて ○話し合い活動 ・学級会 ○学習計画 ・学習計画表作成	○職場体験 ・前子読み合わせ ○三選会 ・審議 ・生徒会スローガン案	○生徒総会 ・前子読み合わせ ○三選会 ・審議	○球技大会・百人一首 ・選手決め ○学年集会 ○最後の学活
3年 内容	○中学校生活について ・共生共育 ○学級開き ・学級編成づくり ・係、委員会決め ・学級理想像決め ・掲示物作成 ・体育祭の準備・マスコット決め ○生徒会活動・部活動について ・対面式 ・新入生オリエンテーション(生徒会・部活動) ○学年集会	○体育祭 ・体育祭目標決め ・選手決め ・体育祭振り返り ○生徒総会 ・生徒総会前子読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会役割研修会	○学習計画 ・学習計画表作成 ○話し合い活動 ・学級会	○壮行会 ○学年集会 ○話し合い活動 ・学級会	○学年集会 ○合宿コンクール ・合宿コンクール目標決め ・合宿練習	○学級編成づくり ・係、委員会決め ・掲示物作成 ○掲示物 ・展示準備 ・しおり読み合わせ ○話し合い活動 ・学級会 ○合宿コンクール ・合宿練習	○話し合い活動 ・学校理想像達成のための取組 ○道路・キャリア教育 ・面接シート	○冬休みに向けて ○話し合い活動 ・学級会 ○学習計画 ・学習計画表作成	○道路学習 ・面接練習	○入試 ・道路開校 ○卒業準備 ・選手決め ○卒業式練習	○卒業式練習 ○三選会 ○学年集会 ○最後の学活

【総合的な学習の時間】の学習について

●本年度研究テーマ

「他者との関わりの中で豊かな心と判断力を養い、持続可能な社会の実現に向けて主体的に行動できる生徒を育成する」

●学習内容

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
テーマ	「地域をつくる①」 地域の一人として防災や減災、福祉の実現のためにできることを探究する。											
内容	地域…「地域」「防災・減災」「福祉」等に関する課題を設定する。 課…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・はばたき「中学生になつて」の記入 ・インタビュー活動 ・講演会 ・地域探検 ・施設訪問 ・防災マップ作り ・避難訓練 ・福祉体験 ・地域貢献活動 ・（自然教室） など 3 「すべての人に健康と福祉を」 11 「住み続けられるまちづくりを」 16 「平和と公正をすべての人に」											
体験活動例	  											
SDGsとの関連	「社会をつくる①」 職業や将来について考え、社会の創り手となるためにできることを探究する。 課…「働くこと」「職業観」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・インタビュー活動 ・講演会 ・企業訪問活動 ・校外学習 ・企業訪問活動 8 「働きがいも経済成長も」 9 「産業と技術革新の基盤をつくろう」 12 「つくる責任つかう責任」 16 「平和と公正をすべての人に」											
テーマ	「社会をつくる②」 職業や将来について考え、社会の創り手となるためにできることを探究する。											
内容	課…「働くこと」「職業観」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・はばたき「1年生を振り返ろう」 ・これまでの学びを振り返り、自分の生き方や在り方を考える。											
体験活動例	   											
SDGsとの関連	「未来をつくる①」 歴史や伝統文化に触れ、未来を築く一員としてできることを探究する。 課…「歴史と伝統文化」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・インタビュ活動 ・講演会 ・開演会 ・修学旅行 ・学芸会 ・学芸旅行 ・伝統文化工芸体験 ・学校（職場）見学 ・面接練習 など 4 「質の高い教育をみんなに」 16 「平和と公正をすべての人に」											
テーマ	「未来をつくる②」 自己の在り方・生き方を考え、未来を築く一員としてできることを探究する。											
内容	課…「進路・キャリア」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・はばたき「2年生を振り返ろう」 ・これまでの学びを振り返り、自分の生き方や在り方を考える。											
体験活動例	 											
SDGsとの関連	「未来をつくる③」 自己の在り方・生き方を考え、未来を築く一員としてできることを探究する。 課…「進路・キャリア」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。 ・はばたき「3年生を振り返ろう」 ・これまでの学びを振り返り、自分の生き方や在り方を考える。											
テーマ	「未来をつくる③」 自己の在り方・生き方を考え、未来を築く一員としてできることを探究する。											
内容	課…「進路・キャリア」等に関する課題を設定する。 情…課題を明らかにするための調査や情報収集、体験活動をする。 整…集めた情報や体験から学んだことについて分析する。 ま…設定した課題について考えたことをまとめ、発表する。											
体験活動例	 											
SDGsとの関連	・インタビュ活動 ・講演会 ・開演会 ・学芸会 ・学芸旅行 ・学芸会 ・学芸旅行 ・伝統文化工芸体験 ・学校（職場）見学 ・面接練習 など ・はばたき「3年生を振り返ろう」 ・これまでの学びを振り返り、自分の生き方や在り方を考える。											

【Memo】